

## 岩手県企業短期経済観測調査結果（2008年9月）

調査対象企業数 63 社、回答数 63 社（製造業 26 社、非製造業 37 社）回収率 100%

### 1. 業況判断

調査対象先の業況判断指数（D.I.）は、製造業がほぼ横這い、非製造業が改善。

先行きについては、製造業、非製造業とも、原油市況の低下による仕入価格の低下と販売価格の引き上げを期待して、改善を予想。

業種別にみると、製造業では、米国の受注減少から一般機械、輸送用機械が悪化したほか、包装資材等の上昇から木材・木製品も悪化した。中国など新興国向けの輸出増加などから精密機械、電気機械、鉄鋼が改善したため、ほぼ横這いで推移（前回 26 今回 27）。先行きについては、販売価格の引き上げ期待から素材業種が改善するため、「悪い」超幅が縮小（27 予測 19）。

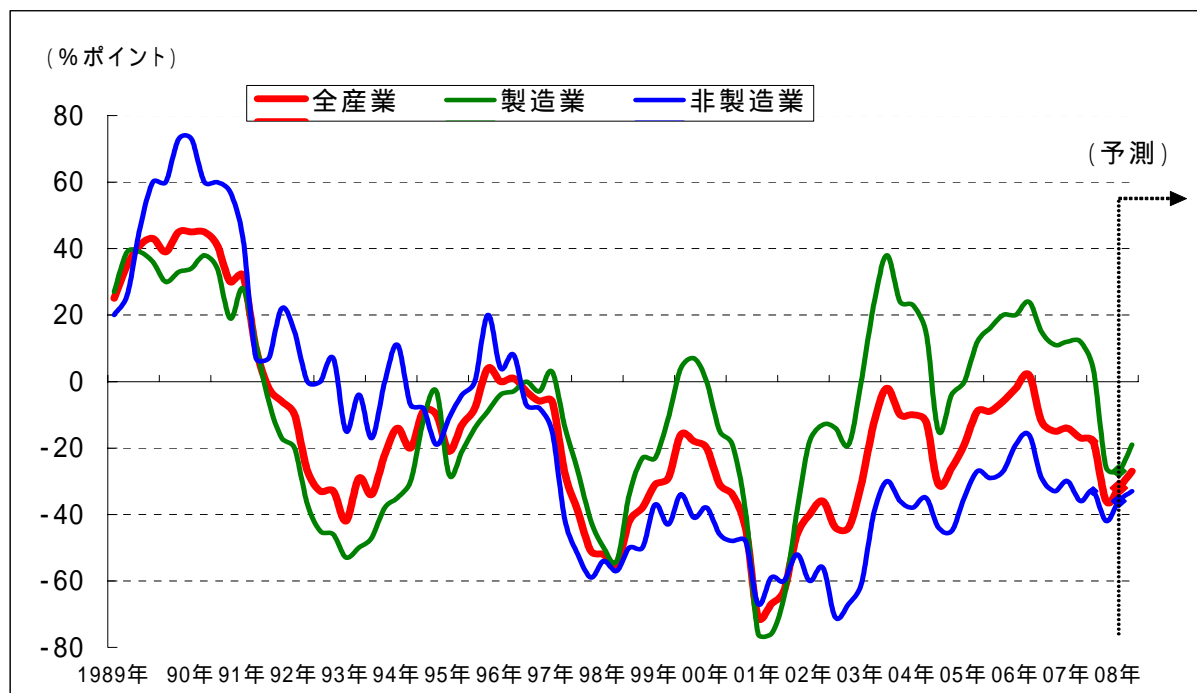
非製造業では、広告需要の減少から情報通信が悪化したものの、財務改善努力の奏効などから、建設、小売、鉱業が改善したため、「悪い」超幅が縮小（前回 42 今回 36）。先行きについては、ガス料金の引き上げなどから電気・ガスが改善するため、全体でも「悪い」超幅が縮小（36 予測 33）。

（業況判断D.I.の推移）

（「良い」 - 「悪い」）回答社数の構成比、%ポイント。（ ）内は前回予測。

	07/6月	9月	12月	08/3月	6月	9月	12月 (予測)
<b>製造業</b>	11	12	12	4	26	27( 34)	19
素材業種	15	15	29	29	57	57( 57)	15
加工業種	20	21	27	16	16	15( 27)	21
食料品	20	0	0	20	20	20( 20)	20
電気機械	0	0	33	17	67	50( 50)	67
<b>非製造業</b>	33	30	36	33	42	36( 42)	33
建設	41	29	32	31	50	40( 63)	46
卸・小売	38	25	50	38	29	14( 29)	14
<b>全産業</b>	15	14	17	18	36	32( 39)	27

(〔図〕業況判断D.I.の推移)



(参考) 東北地区(6県)及び全国の業況判断D.I.の推移、( )内は前回予測。

		07/6月	9月	12月	08/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	岩手	11	12	12	4	26	27( 34)	19
	東北	8	7	3	4	12	16( 17)	20
	全国	13	9	9	2	3	11( 7)	16
非製造業	岩手	33	30	36	33	42	36( 42)	33
	東北	21	19	21	28	33	34( 35)	37
	全国	3	1	3	7	10	16( 16)	22
全産業	岩手	15	14	17	18	36	32( 39)	27
	東北	10	10	12	18	24	27( 27)	30
	全国	7	4	2	4	7	14( 12)	19

## 2. 売上高・収益（2008年度計画）等

2008年度の売上高、経常利益計画は、製造業が売上げ横這い、経常利益大幅減益、非製造業が減収増益となった。製造業の大幅な減益は、米国経済の停滞を背景とした受注の減少、素原材料価格の上昇、販売価格の下落が主因。前回調査比でも2割近い下方修正。一方、非製造業は、仕入価格上昇分の販売価格への転嫁などから2割近い増益の計画。もともと、前回調査比では、燃料費の高騰や地震による風評被害などから、2割強の下方修正。

（売上高・経常利益）

上段：前年同期比・%、下段（ ）：前回調査比修正率・%

	2007年度 (実績)		2008年度 (計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
<b>製造業</b>	11.1	10.2	0.4 ( 2.2)	0.5 ( 4.0)	0.3 ( 0.5)	32.1 ( 16.6)	65.5 ( 24.4)	4.2 ( 13.9)
素材業種	1.4	83.7	6.8 ( 4.3)	4.4 ( 8.0)	8.8 ( 1.1)	赤字	赤字	4.8倍 ( 42.2)
加工業種	11.5	7.5	0.2 ( 2.1)	0.4 ( 3.8)	0.1 ( 0.5)	29.0 ( 12.1)	56.0 ( 10.9)	6.5 ( 12.6)
<b>非製造業</b>	1.3	55.1	4.6 ( 1.4)	7.6 ( 2.0)	2.4 ( 1.0)	18.0 ( 22.7)	赤字	26.2 ( 3.2)
建設	0.0	36.0	9.1 ( 0.1)	21.7 ( 0.2)	1.8 ( 0.0)	39.1 ( 2.2)	赤字	22.6 ( 0.2)
卸・小売	3.1	5.7	0.9 ( 1.8)	1.7 ( 1.9)	3.3 ( 1.8)	17.6 ( 8.6)	黒字転化 ( 43.7)	23.4 ( 6.0)
<b>全産業</b>	6.5	22.2	1.3 ( 2.0)	2.0 ( 3.4)	0.7 ( 0.7)	24.4 ( 18.2)	赤字	8.9 ( 8.9)

製商品・サービス需給判断（D.I.、全産業）は、「供給」超幅が拡大、製商品在庫判断（同）は、ほぼ横這い。

仕入価格判断（同）は、「上昇」超幅が縮小、販売価格判断（同）は、「下落」超に転化した。

（判断D.I.）

全産業ベース、回答社数の構成比、%ポイント

		07/6月	9月	12月	08/3月	6月	9月	12月 (予測)
製商品・サービス需給	「需要超過」「供給超過」	36	36	38	41	40	44( 38)	43
製商品在庫	「過大超過」「不足超過」	18	21	16	22	14	13( )	
仕入価格	「上昇」「下落」	43	45	51	51	65	60( 70)	49
販売価格	「上昇」「下落」	19	17	11	20	1	5( 5)	8

### 3. 設備投資額（2008年度計画）等

2008年度の設備投資計画（ソフトウェア投資を除く）は、製造業が前年度比22%、非製造業が同35%と減少。

前回調査との比較では、製造業は、受注減少や収益悪化を背景とした投資の見直し・先送りの動きが広がっており、2割方の下方修正。非製造業でも、投資を縮小する動きが見られ、小幅ながら下方修正。

（設備投資額[ソフトウェア投資を除く]） 上段：前年同期比・%、下段（ ）：前回調査比修正率・%

	2007年度 (実績)	2008年度(計画)		
		年度	上期	下期
製造業	4.1	21.6	2.1	38.0
		( 20.7 )	( 31.6 )	( 2.9 )
素材業種	85.3	52.5	65.7	86.9
		( 3.8 )	( 4.5 )	( 0.9 )
加工業種	2.1	20.2	0.6	35.2
		( 21.0 )	( 32.4 )	( 2.9 )
非製造業	45.1	34.9	42.8	26.7
		( 3.4 )	( 5.1 )	( 1.9 )
建設	34.3	14.6	2.1倍	62.0
		( 2.3 )	( 3.4 )	( 0.0 )
卸・小売	58.9	72.1	79.5	27.8
		( 0.0 )	( 12.0 )	( 30.0 )
全産業	3.4	22.7	2.7	37.2
		( 19.6 )	( 30.4 )	( 2.8 )

生産・営業用設備判断(D.I.)をみると、製造業は「過剰」超幅が拡大。一方、非製造業は「過剰」超幅が縮小。

（生産・営業用設備判断D.I.） （「過剰」 - 「不足」）回答社数の構成比、%ポイント

	07/6月	9月	12月	08/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	8	4	0	11	7	15( 3)	15
非製造業	5	2	7	7	13	8( 16)	8
全産業	6	3	4	9	11	11( 11)	11

#### 4. 雇用人員判断

雇用人員判断（D.I.）をみると、製造業は「過剰」超幅が縮小、非製造業はほぼ横這い。先行きは、製造業は「過剰」超幅が拡大、非製造業が縮小の予測。

（判断D.I.） （「過剰」「不足」）回答社数の構成比、%ポイント

	07/6月	9月	12月	08/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	12	7	4	15	19	11( 11)	19
非製造業	17	10	2	5	18	19( 21)	13
全産業	15	9	3	9	19	16( 17)	16

#### 5. 企業金融関連判断

企業の資金繰り判断（D.I.、全産業）は、「苦しい」超幅が拡大。金融機関の貸出態度判断（同）は、「厳しい」超幅が拡大。

借入金利水準判断（同）は、「上昇」超幅が縮小、先行きは、「上昇」超幅が拡大の予測。

（判断D.I.） 全産業、回答社数構成比、%ポイント

		07/6月	9月	12月	08/3月	6月	9月	12月 (予測)
資金繰り	「楽」「苦しい」	15	15	17	15	18	25( )	
金融機関 貸出態度	「緩い」「厳しい」	3	3	3	3	2	7( )	
借入金利 水準	「上昇」「低下」	47	44	35	22	22	13(29)	21

以上

本件に関する問い合わせ先  
 日本銀行盛岡事務所  
 TEL：019-624-3622（代）  
<http://www3.boj.or.jp/morioka/>